

平成19年度決算報告

お知らせします
村の家計簿

村の平成十九年度の決算がまとまり、九月下旬に行われた村議会定例会で認定されました。
村では、厳しい財政状況の中、第三次鮫川村振興計画に基づき、「まめな暮らしを生かした村づくり」を基本理念に、四つの基本施策を展開する事業を進めてきました。
これらの基本施策を盛り込んだ平成十九年度の歳出（支出）決算額は、一般会計が二十九億四千三百二十七万円、特別会計が十六億四千四百十六万円で、全会計合わせて四十五億八千四百七十三万円となりました。
今月号は、平成十九年度決算のあらましをお知らせします。

一般会計

平成十九年度の一般会計決算額は、歳入（収入）総額三十億三百二十八万円、歳出（支出）総額二十九億四千三百二十七万円で、歳入歳出差引額が六千一百万円の黒字となりました。

【歳入】

歳入は、前年度と比較すると七千三百七十三万円（二・四％）の減少となりました。
自主財源の主なものはみなさんに納めていただく「村税」（村民税・固定資産税・軽自動車税・村たばこ税・入湯税）で、前年度に比べ二千七百十万円（一〇・六％）増の二億八千七百十三万円となりました。また、さまざまな基金からの繰入金は前年度に比べ三千二十四万円（二二・四％）増の一億六千五百九万円とな

■会計決算の状況

会 計 別	歳入総額	歳出総額	差 引 額
一 般 会 計	30億328万2千円	29億4,326万8千円	6,001万4千円
特 別 会 計	17億1,762万1千円	16億4,145万8千円	7,616万3千円
国民健康保険	5億1,567万6千円	4億9,342万2千円	2,225万4千円
事業勘定直診勘定	9,441万4千円	8,852万円	589万4千円
老人保健	5億1,728万円	4億9,575万8千円	2,152万2千円
簡易水道事業	7,060万2千円	6,593万6千円	466万6千円
村営バス事業	925万8千円	825万7千円	100万1千円
集落排水事業	3,435万円	3,276万4千円	158万6千円
介護保険	3億1,352万4千円	2億9,856万9千円	1,495万5千円
交流施設	2,146万1千円	1,883万6千円	262万5千円
学校給食センター	1億4,105万6千円	1億3,939万6千円	166万円
決 算 総 額	47億2,090万3千円	45億8,472万6千円	1億3,617万7千円

■一般会計歳入決算の状況

区 分	決 算 額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
自 主 財 源	6億2,188万8千円	20.7	5,955万5千円	10.6
村 税	2億8,173万1千円	9.4	2,709万8千円	10.6
繰 入 金	1億6,508万7千円	5.5	3,024万4千円	22.4
繰 越 金	6,464万8千円	2.2	711万4千円	12.4
諸 収 入	3,037万2千円	1.0	△693万円	△18.6
そ の 他 ①	8,005万円	2.6	202万9千円	2.6
依 存 財 源	23億8,139万4千円	79.3	△1億3,328万9千円	△5.3
地方交付税	15億5,062万6千円	51.6	5,401万8千円	3.6
村 債	2億4,940万円	8.3	△7,430万円	△23.0
県 支 出 金	2億8,789万1千円	9.6	1,682万9千円	6.2
国庫支出金	1億8,214万5千円	6.1	△9,368万7千円	△34.0
そ の 他 ②	1億1,133万2千円	3.7	△3,614万9千円	△24.5
計	30億328万2千円	100.0	△7,373万4千円	△2.4

※その他①＝使用料手数料、財産収入、寄附金、分担金及び負担金／その他②＝地方譲与税、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、利子割交付金、交通安全対策特別交付金、株式譲渡所得割交付金、配当割交付金

■一般会計目的別歳出決算の状況

区 分	決 算 額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
総 務 費	6億3,258万9千円	21.5	2,105万2千円	3.4
民 生 費	5億2,444万5千円	17.8	3,856万1千円	7.9
公 債 費	4億335万8千円	13.7	△71万9千円	△0.2
農林水産業費	3億9,702万6千円	13.5	3,328万9千円	9.2
衛 生 費	2億3,274万円	7.9	△1,002万6千円	△4.1
土 木 費	2億2,524万8千円	7.7	△1億1,268万5千円	△33.3
教 育 費	2億1,562万1千円	7.3	△1,884万円	△8.0
災 害 復 旧 費	1億2,437万8千円	4.2	△1,549万4千円	△11.1
消 防 費	1億1,057万1千円	3.8	84万円	0.8
議 会 費	4,590万5千円	1.6	△941万7千円	△17.0
そ の 他	3,138万7千円	1.0	433万9千円	16.0
計	29億4,326万8千円	100.0	△6,910万円	△2.3

※その他＝労働費、商工費

■一般会計性質別歳出決算の状況

区 分	決 算 額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
人 件 費	6億5,595万1千円	22.3	△4,569万6千円	△6.5
公 債 費	4億335万8千円	13.7	△71万9千円	△0.2
補 助 費 等	3億7,563万3千円	12.8	237万6千円	0.6
普通建設事業費	3億2,789万2千円	11.1	△1億6,384万2千円	△33.3
積 立 金	2億9,905万1千円	10.2	1億1,548万1千円	62.9
繰 出 金	2億9,766万5千円	10.1	239万円	0.8
物 件 費	2億7,513万2千円	9.3	2,503万8千円	10.0
扶 助 費	1億6,631万7千円	5.7	655万6千円	4.1
そ の 他	1億4,226万9千円	4.8	△1,068万4千円	△7.0
計	29億4,326万8千円	100.0	△6910万円	△2.3

※その他＝災害復旧費、維持補修費、投資及び出資金・貸付金

となりました。

歳入は、その性質から「依存財源」（国や県から入ってくるお金と「自主財源」（村が自分の手で確保できるお金）に分けられます。依存財源で大半を占めるのは「地方交付税」で、十五億五千六十三万円となり、前年に比べ五千四百二万円（三・六％）の増加となりました。増額の主な要因は「まめで達者な村づくり事業」などに対する特別支援措置によるもので

り、自主財源の中で村税に次ぐ割合を占めました。

【歳出】

歳出は、前年度に比べ全体で六千九百十万円（二・三％）の減少となりました。

目的別歳出のトップは、総務費の六億三千二百五十九万円（二一・五％）。次いで民生費の五億二千四百四十五万円（一七・八％）、公債費の四億三千三十六万円（一三・七％）

となりました。

性質別では、人件費が六億五千五百九十五万円（二二・三％）でトップとなり、公債費の四億三千三十六万円（一三・七％）、補助費の三億七千五百六十三万円（一二・八％）と続きます。平成十九年度に行った主な事業については、四・五ペー

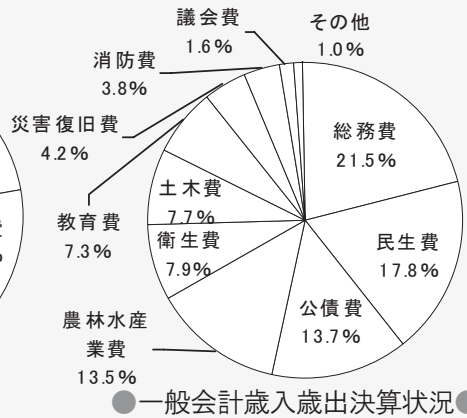
特別会計

特別会計とは、特定の事業を特定

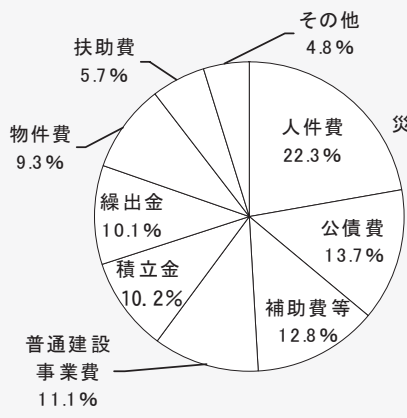
の収入で行うために、予算を分けて、独立して設けた会計をいいます。

平成十九年度の特別会計決算額の総額は、歳入が十七億千七百六十二万円で、前年度に比べ三千三百八十万円（二・〇％）の増となりました。また、歳出は十六億四千四百十六万円となり、前年度に比べ二千五百九十万円（一・六％）の増となりました。

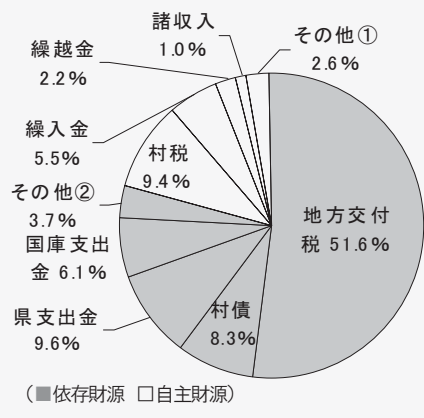
■目的別歳出決算



■性質別歳出決算



■歳入決算



全会計合わせて45億円を支出

[対前年度比4,319万8千円(0.9%)減]

主な事業概要④	主な事業概要③
＜農村の人づくりと産業ビジョン＞ 地域から世界を見ることができる人材を育成し、消費者と生産者の密接な関係を構築する村の実現 【学校教育の充実】 ●小・中学校基礎学力向上推進事業（学力診断テスト）に38万円 ●野外体験活動支援事業に24万円 ●鮫川小・中学校コンピュータ借料に241万円 ●鮫川中学校修学旅行助成金として114万円 ●語学指導を行う外国青年招致事業に429万円 ●スクールバス運行のために（小学校2台、中学校4台）1,424万円 ●学校給食センター運営のために3,290万円 【安心安全、顔の見える農業の振興】 ●水田作付条件整備事業（暗渠排水20人）200万円 ●畜産環境保全条件整備事業のために（堆肥舎などの整備・2組合）386万円 ●肉用牛生産振興事業に（市場運搬経費、ヘルパー経費補助）180万円 ●優良牛整備増殖事業に（優良和牛基礎雌牛導入補助）91万円 ●強い農業づくり交付金事業のために（機械導入補助・1組合）678万円 ●畜産輸入飼料高騰緊急対策事業のために67万円 【ふるさとの森を守り育てる】 ●松くい虫防除事業のために528万円 【商工業の振興、雇用機会の確保】 ●商工業振興事業（商工会補助など）のために335万円 ●事業所の福利厚生などのために11万円 【村の特徴を活かした観光の振興】 ●高原の鮫川うまいもの祭りのために200万円 ●多目的トイレ新設工事に（江竜田農村公園・鹿角平観光牧場）434万円 【その他】 ●国土調査のために4,103万円 ●選挙のために1,407万円 ●議会運営のために4,590万円 ●図書館運営として739万円 ●村の借入金返済のために4億335万円	＜農村の暮らしビジョン＞ みんなが安心して生活できる村の実現 【安心生活ができる公共交通づくり】 ●生活バス路線運行のために（福島交通バス運行補助金および村営バス特別会計繰出金）1,245万円 【多様な暮らしの工夫】 ●村営住宅渡瀬団地建設事業（1棟5戸）5,002万円 【火災と災害への備え】 ●小型動力ポンプ（1台）購入のために147万円 ●白河地方広域市町村圏整備組合常備消防費負担金として7,735万円 ●防災行政無線設備維持管理に283万円 ●高度情報化事業に（白河広域ネットワーク負担金など）843万円 【安心生活ができる保険・医療・福祉の充実】 ●住民健康診査のために（各種がん検診含む）1,443万円 【安心生活ができる高齢者の保健と福祉の充実】 ●高齢者総合福祉センター（ひだまり荘）運営のために843万円 ●さざり荘運営のために608万円 ●高齢者筋力づくり教室のために425万円 ●高齢者インフルエンザ予防接種のために171万円 ●高齢者生活支援事業のために（緊急通報システム借料、紙おむつ給付）414万円 【子育て支援体制づくり】 ●保育園・こどもセンター運営のために1億3,349万円 ●乳幼児医療費助成のために916万円 ●妊婦一般健康診査のために129万円 ●妊産婦医療費助成（社保分）のために96万円 ●幼稚園運営費として2,275万円 ●放課後児童クラブ運営のために184万円 ●児童手当のために3,203万円 【障害者の支援体制づくり】 ●障害者自立支援給付のために6,056万円 ●重度心身障害者医療費扶助のために869万円 【その他】 ●地方振興費（各行政区への補助金）260万円 ●区長・副区長・行政連絡員報酬として1,042万円

主な事業概要②	主な事業概要①
＜農村の環境ビジョン＞ 自然や動植物と共存し、農村環境を創る村の実現 【道路網・道路環境の整備】 ●村道維持補修のために419万円 ●村道交通安全施設整備のために124万円 ●林道関口鹿角平線改良工事のために4,820万円 ●除雪業務のために（3回）191万円 ●道路付属施設等環境美化事業（道路除草）に443万円 ●県営農道整備事業負担金として（東野中部地区農免農道）489万円 【水を大切にし、環境に配慮した排水の処理】 ●合併処理浄化槽設置費補助のために（20基）1,154万円 ●集落排水事業のために（集落排水事業特別会計繰出金）2,460万円 【その他】 ●東白衛生組合運営費負担金として6,858万円	＜農村の再生ビジョン＞ 独自の優れた資源を発見し、みんなで知恵を出し、心豊かに暮らし続けられる村の実現 【環境と健康を食べる】 ●農産物加工・直売所事業のために（施設管理、運営費補助）726万円 ●大豆による元気づくり事業に（特産品開発、アイディア料理コンテスト、食育推進等）107万円 【農村の景観と文化を生かす】 ●舘山公園整備事業のために706万円 ●農村体験館整備事業（旧渡瀬保育所改修整備）に4,357万円 ●中山間地域直接支払交付金として1億2,276万円 【災害復旧】 ●公共土木施設災害復旧のために（過年災…凍上災6カ所、地すべり1カ所、現年災…河川6カ所、道路4カ所）8,334万円 ●農地等災害復旧のために（現年災…14カ所）2,685万円 ●林道施設災害復旧のために（現年災…3カ所）1,417万円



中山間直接支払交付金事業で管理されている景観



村農村体験交流施設「山王の里」



渡瀬団地

村民1人당당りに使われるお金は**686,236円**（△7,059円）です。

一般会計歳出予算額÷平成20年3月31日現在の人口4,289人で計算。
〔（ ）内は対前年比。平成18年度は平成19年3月31日現在の人口4,345人で計算。〕

総務費	選挙、戸籍、徴税、広報紙発行などのためのお金	147,491円 (6,746円)
民生費	高齢者や子ども、障害者などの福祉のためのお金	122,277円 (10,451円)
公債費	地方債（村の借入金）を返済するためのお金	94,045円 (1,047円)
農林水産業費	農林業の振興や農林道の整備などのためのお金	92,569円 (8,855円)
衛生費	保健事業や予防接種、環境衛生などのためのお金	54,264円 (△1,609円)
土木費	道路や橋、住宅を整備・維持するためのお金	52,518円 (△25,257円)
教育費	学校教育や生涯学習、体育振興などのためのお金	50,273円 (△3,688円)
消防費	消防施設の整備や消防団活動のためのお金	25,780円 (526円)
議会費	村議会運営のためのお金	10,703円 (△2,029円)
その他	商工業の振興、災害復旧などのためのお金	36,317円 (△2,100円)

村のお金の使いみち

平成19年度はこんな仕事を行いました

平成19年度決算 財政健全化判断比率及び 資金不足比率をお知らせします

平成十九年六月、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が成立し、新しい財政指標の公表が十九年度決算から義務付けられることになりました。

この法律は、地方公共団体の財政健全化に関する比率の公表の制度を設け、財政健全化に役立てることを目的とするものです。

地方公共団体は、毎年度、四つの健全化判断比率（①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担比率）と簡易水道や集落排水などの公営企業ごとに資金不足比率を村監査委員の審査に付した上で議会に報告し、公表しなければならぬこととされています。

本村の財政指標は、次のとおりとなりましたのでお知らせします。

●財政健全化判断比率			
指 標	鮫川村の指標	早期健全化基準	財政再生基準
実 質 赤 字 比 率	－	15%	20%
連結実質赤字比率	－	20%	40%
実 質 公 債 費 比 率	13.0%	25%	35%
将 来 負 担 比 率	52.1%	350%	

※早期健全化基準…財政状況の破綻の一手前でイエローカードを意味する。
※財政再生基準…財政の破綻を示すレッドカードを意味する。

●資金不足比率		
会 計 名	鮫川村の指標	経営健全化基準
簡易水道事業特別会計	－	20%
集落排水事業特別会計	－	20%

※経営健全化基準…公営企業会計の財政の破綻を示すレッドカードを意味する。

●指標の説明	
実質赤字比率	一般会計等の赤字の程度をあらわしたもので、財政運営の深刻度を示すもの
連結実質赤字比率	全ての会計を合算し、村全体としての赤字の程度を示すもの
実 質 公 債 費 比 率	その年度の借入金等の返済分の大きさをあらわしたもので、単年度の財政負担を示すもの
将 来 負 担 比 率	借入金の残高や将来支払が見込まれる負債分の大きさをあらわしたもので、将来に残された負担を示すもの
資 金 不 足 比 率	公営企業会計の資金不足の程度をあらわしたもので、経営状況を示すもの

財政健全化判断比率

①実質赤字比率

平成十九年度における決算では、該当となる会計の収支が黒字であったので、実質赤字比率は生じませんでした。

②連結実質赤字比率

平成十九年度における決算では全会計を合計した収支が黒字であったので、連結実質赤字比率は生じませんでした。

③実質公債費比率

平成十九年度の実質公債比率は十三・〇％となり、十八年度の値（十三・九％）より〇・九％改善されました。

④将来負担比率

平成十九年度の将来負担比率は五十二・一％となりました。法律に定める早期健全化基準は三百五十％で、基準の範囲内の結果となりました。

資金不足比率

簡易水道事業特別会計

簡易水道事業は収支が黒字であったために資金不足比率は生じませんでした。

集落排水事業特別会計

集落排水事業は収支が黒字であったために資金不足比率は生じませんでした。

平成19年度村敬老会

773人の長寿を祝う

平成二十年度鮫川村敬老会は九月十四日、村農業者トレーニングセンターで開かれました。

今年は満七十五歳以上の七百七十三人（男性・二百九十一人、女性・四百八十二人）を招待。最高齢は芳賀輔宗さん（江竜田）、石田末子さん（宿ノ入）の満百歳となっています。

敬老会では、大樂村長が「健康

に留意して長生きをしてください。」とあいさつ。百歳を迎えた二名に百歳を祝う総理大臣賀状伝達が行われ、米寿、八十歳到達者、金婚夫婦に記念品が贈られたあと、前田村議会議長らが祝辞を述べました。また、鮫川小六年の北條瑞希さん（酒垂）と鮫川中三年の生方一真さん（道少田）が高齢者に感謝する作文を朗読し、中野八幡神



上…総理大臣賀状を受ける芳賀さん／中…アトラクションでは、賑やかに踊りながら披露されました／下…記念品の贈呈を受ける参加者

社秋季祭礼の子どもみこしがお祝いに駆けつけました。

続いて、アトラクションに入り、ふる里文化芸能クラブや各地区の高齢者支援団体が踊りや歌を披露し、楽しいひとときを過ごしました。



長寿者番付

（平成20年9月15日現在・敬称略）

順位	氏 名	満年齢	順位	氏 名	満年齢
1	芳賀 輔宗	100	27	藤田 卓三	92
2	石田 末子	100	28	橋本 キヨミ	92
3	石井 ウメノ	99	29	星 弘	92
4	関根 ミツ	98	30	鈴木 ミサオ	92
5	渡邊 スイ	97	31	関根 廣美	92
6	吉保 重利	97	32	野崎 トミヨ	92
7	青戸 ナヲ	96	33	湯坐 フチイ	92
8	矢吹 喜一	96	34	大平 太平	92
9	生田目 タマ	96	35	青戸 テル	92
10	湯坐 ハツ	95	36	本多 榮之助	91
11	阿久津 秀勝	94	37	山形 政之	91
12	松本 ミノ	94	38	鷲野谷 満	91
13	関根 スエ	94	39	大竹 保	91
14	松本 トメ	94	40	本多 清一	91
15	棚井 イツ	94	41	矢吹 勝藏	91
16	鈴木 クニ	94	42	薄葉 トリ	91
17	佐藤 キクイ	94	43	高坂 ミチ	91
18	矢吹 テル	94	44	溝井 フミ	91
19	星 武	93	45	松本 亨	90
20	佐藤 キク	93	46	有賀 直吉	90
21	北條 ツメ子	93	47	円谷 政男	90
22	鈴木 公義	93	48	市川 操	90
23	赤坂 ツ子	93	49	鷲野谷 ヨネ	90
24	森 キクヨ	93	50	生田目 幸次郎	90
25	味原 伊助	93	51	蛭田 イネ	90
26	宗田 ユキ	92			